

横須賀市中小企業景況レポート

第 32 号 (令和 2 年 10 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：158社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査144社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和2年4～6月の景況感（調査時点 令和2年6月1日）
今期・・・令和2年7～9月の景況感（調査時点 令和2年9月1日）
次期・・・令和2年10～11月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI値を記載

全業種の景況感は、前期の△63Pから14P改善し、【△49P】となりました。

今期は、ほとんどの業種で改善しました。特に卸・小売業【△39P】は、大幅な改善となりました。

項目別にみても、雇用人員【△18P】以外の項目で改善が見られました。

次期については、卸・小売業、製造業で悪化が見込まれていますが、不動産業は改善する見込みです。

昨年同期（令和元年7月～9月）の景況感比較は、「悪い」が6割以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 △41P <悪い> ↓ 】 (前期比 12P)

前期と比べ、収益【△46P】、資金繰り【△8P】が、それぞれ 10P、15P 改善しました。次期はほとんどの項目で横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・取引先の動き等を勘案すると、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の計画で事業を継続していくことは難しい。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外からの部品・原材料等の輸入が停滞している。
- ・主要取引先としている工場が、稼働を再開したことから若干持ち直したものの従前並みの稼働状況には至っていない。

(2) 建設業 景況感 【 △35P <悪い> ↓ 】 (前期比 5P)

前期と比べ、売上額【△37P】、収益【△38P】がそれぞれ 10P、11P 悪化しましたが、資金繰り【△15P】は、15P 改善しました。

次期はほとんどの項目で横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により受注減少。緊急事態宣言解除後も元請け企業の動きは鈍い状況が続いている。
- ・緊急事態宣言中などは、売上の減少が顕著であったが、7月以降は売上が回復しつつある。ハウスメーカーの指定工事業者として受注を確保できていることが要因である。

(3) 卸・小売業 景況感 【△39P <悪い> ↓】 (前期比27P)

前期と比べ、売上額【△39P】、収益【△33P】は、それぞれ30P、22P改善しました。次期は、売上額、収益、資金繰りが悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ステイホームの波が解消されつつ、客足も戻ると予想しており、店頭販売も行っていることから売上も徐々に回復していくと見込まれる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は、店舗売り上げに関しては微減程度の影響であったが、施設・船舶等への食品卸部門での売上減少が非常に大きかった。
- ・新型コロナウイルス感染症により、各取引先の受注が減少した。秋頃開催している展覧会等のイベントが開催されない見込みであり、新規顧客の確保が課題である。

(4) 不動産業 景況感 【△77P <悪い> ↓】 (前期比△12P)

前期と比べ、売上額【△77P】が12P悪化しましたが、資金繰り【△23P】は13P改善しました。

次期は、売上、収益、資金繰りで大幅な改善が見込まれます。

☆事業者の主な声☆

- ・例年と比較して来店客が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響は未だ尾を引いている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、8月後半から来店客は徐々に戻ってきており、9月からは仲介部門の売上回復を見込んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、引き合いが減少し、契約延期も発生している状況。新型コロナ関連融資で手元資金は確保しているものの、このような状況が長引くようであれば、在庫の価格設定の見直しを行っていかなければならない。

(5) サービス業 景況感 【△76P <悪い> ↓】 (前期比15P)

前期と比べ、売上額【△76P】、収益【△77P】、資金繰り【△26P】は、それぞれ18P、20P、32Pと大幅な改善となりました。しかし、雇用人員【△24P】は、△33Pとなり大幅に悪化しました。

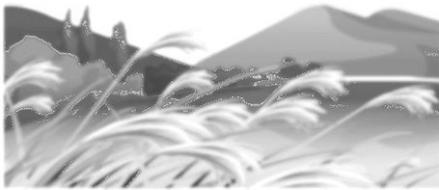
次期は、売上額、収益が改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛で法人・個人客ともに減少している。5月の緊急事態宣言の解除以降、売上は若干回復しているが、前年と比較すると大きく減少している。
- ・緊急事態宣言の解除により、徐々に利用者は増えているものの、当施設から集団感染を発生させないために1日の利用人数を制限しているため、売上は減少している。引き続き利用人数を制限しながら営業していく。

DI値 調査結果

前 …前期 令和2年4月～6月の景況感(調査時点 令和2年6月1日)
 今 …今期 令和2年7月～9月の景況感(調査時点 令和2年9月1日)
 次 …次期 令和2年10月～12月の景況感(調査時点 令和2年9月1日)



業種別調査企業数(I業種別調査企業数(回答数) (単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	149	34	30	38	14	33
今期	158	37	32	46	13	30
次期	158	37	32	46	13	30

(単位:ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	9	9	7	6	5	8	13	9	13	13	15	7	14	0	8	0	7	0
変わらず	19	33	35	35	49	35	34	47	46	8	31	30	7	23	30	9	10	33
悪い(B)	72	58	58	59	46	57	53	44	41	79	54	63	79	77	62	91	83	67
DI値(A)-(B)	△63	△49	△51	△53	△41	△49	△40	△35	△28	△66	△39	△56	△65	△77	△54	△91	△76	△67
今-前/次-今	14		△2	12		△8	5		7	27		△17	△12		23	15		9
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	10	9	9	3	5	14	23	13	6	13	15	9	14	0	8	0	7	7
変わらず	18	30	35	38	41	32	27	37	53	5	31	30	7	23	30	6	10	26
悪化(B)	72	61	56	59	54	54	50	50	41	82	54	61	79	77	62	94	83	67
DI値(A)-(B)	△62	△52	△47	△56	△49	△40	△27	△37	△35	△69	△39	△52	△65	△77	△54	△94	△76	△60
今-前/次-今	10		5	7		9	△10		2	30		△13	△12		23	18		16
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	10	9	8	6	8	8	23	9	6	13	17	9	7	0	8	0	3	10
変わらず	19	32	38	32	38	43	27	44	53	19	33	34	7	15	23	3	17	23
減少(B)	71	59	54	62	54	49	50	47	41	68	50	57	86	85	69	97	80	67
DI値(A)-(B)	△61	△50	△46	△56	△46	△41	△27	△38	△35	△55	△33	△48	△79	△85	△61	△97	△77	△57
今-前/次-今	11		4	10		5	△11		3	22		△15	△6		24	20		20
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	12	8	6	12	16	16	3	6	6	11	0	0	7	8	0	24	13	7
適正	65	66	69	62	57	60	70	63	60	65	83	83	72	77	85	61	50	60
少ない(B)	23	26	25	26	27	24	27	31	34	24	17	17	21	15	15	15	37	33
DI値(A)-(B)	△11	△18	△19	△14	△11	△8	△24	△25	△28	△13	△17	△17	△14	△7	△15	9	△24	△26
今-前/次-今	△7		△1	3		3	△1		△3	△4		0	7		△8	△33		△2
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	9	9	8	12	11	14	13	13	10	11	11	4	7	0	8	3	7	7
支障がない	45	62	60	53	70	59	44	59	64	42	52	55	50	77	77	36	60	53
苦しい(B)	46	29	32	35	19	27	43	28	26	47	37	41	43	23	15	61	33	40
DI値(A)-(B)	△37	△20	△24	△23	△8	△13	△30	△15	△16	△36	△26	△37	△36	△23	△7	△58	△26	△33
今-前/次-今	17		△4	15		△5	15		△1	10		△11	13		16	32		△7

<参考>昨年同期と現在の景況感比較(回答157社)

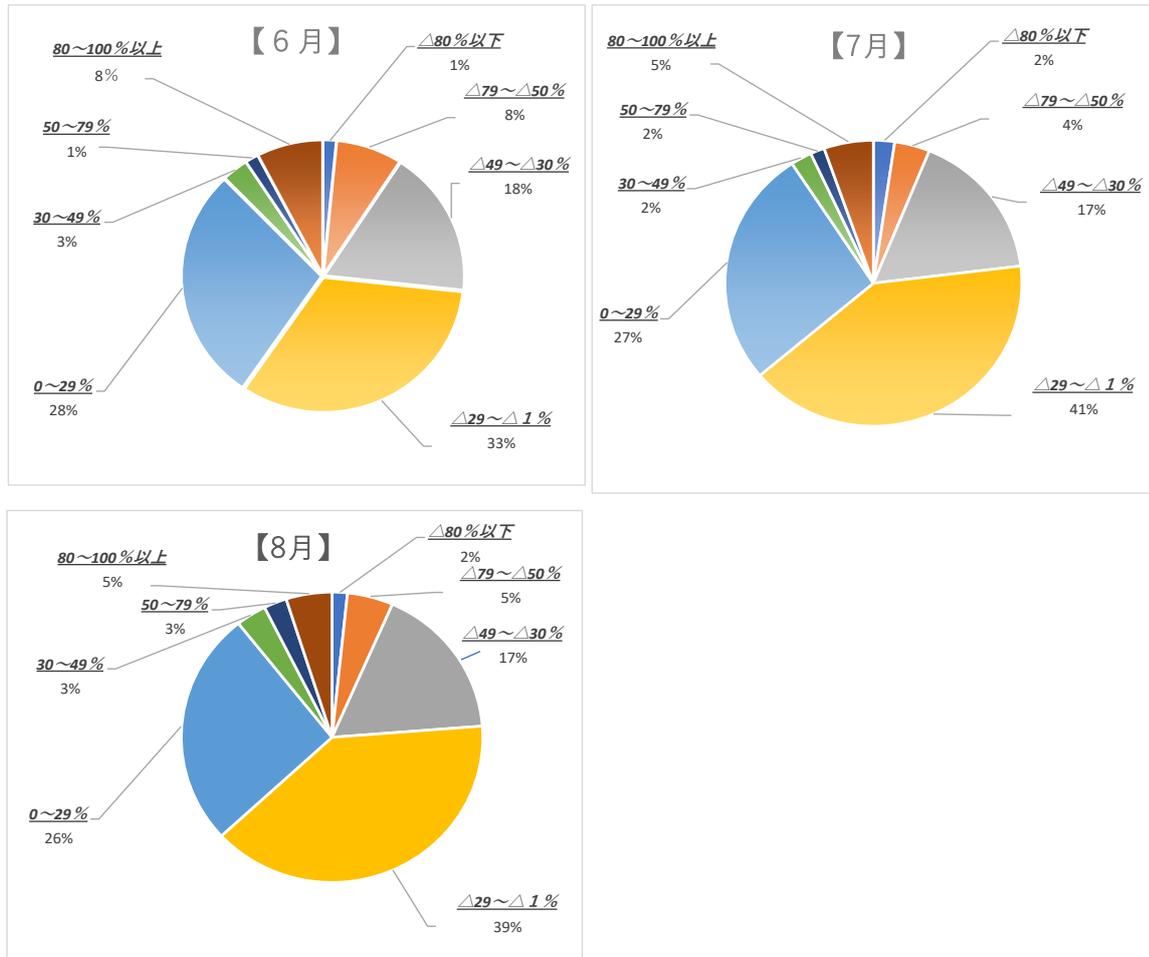
	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	8社	5%	8%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	45社	29%	17%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	104社	66%	75%
DI値(A)-(B)		△61P	△67P



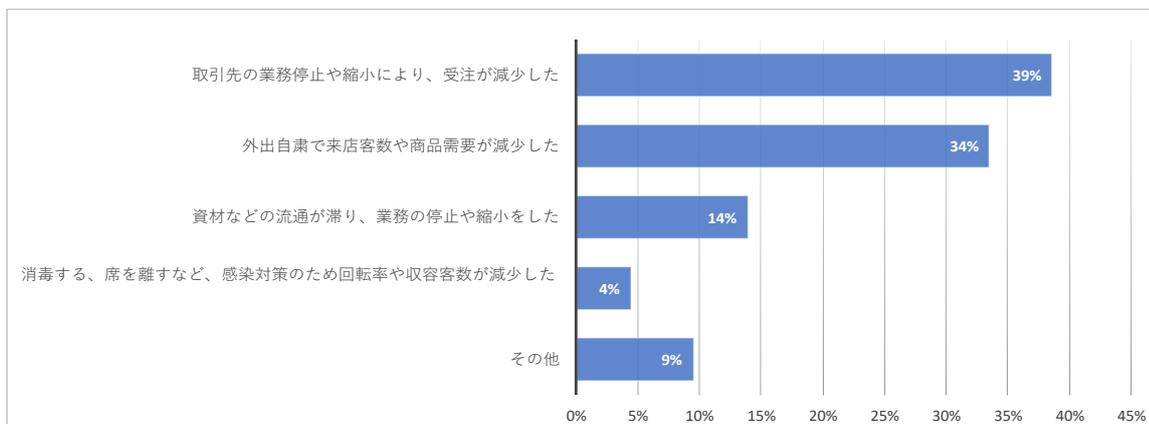
【特別調査（年1回）】 回答企業数 145社

【1】新型コロナウイルス感染症の影響について

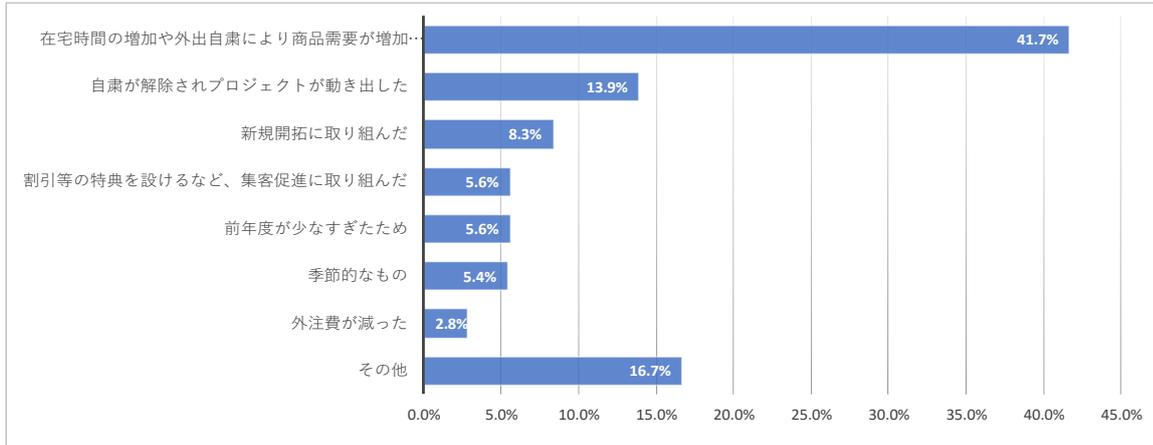
Q1. 令和2年6月、7月、8月の前年同月比の売り上げの状況（増減率）をお教えてください。



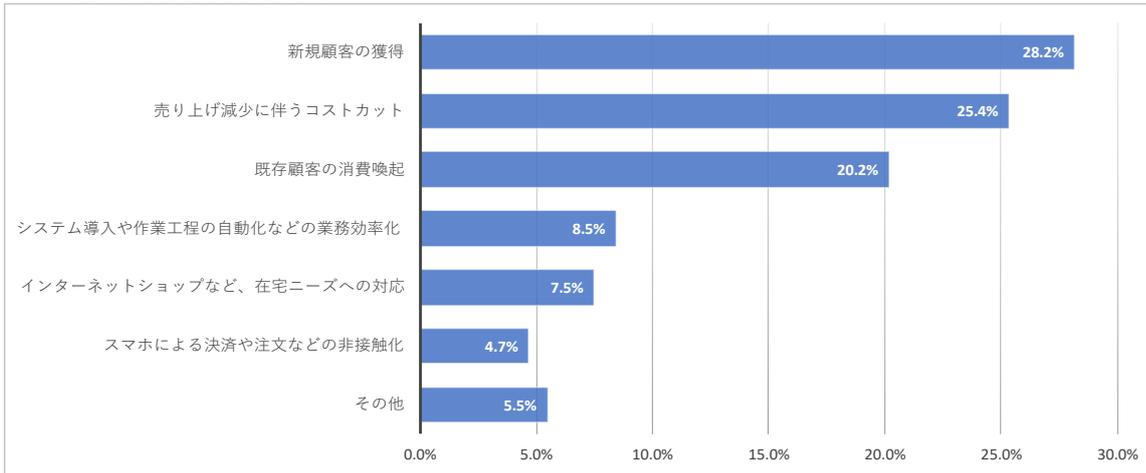
Q2. 売り上げが減少した理由としてどのようなことが考えられますか。



Q3. 売上げが増加した理由としてどのようなことが考えられますか。



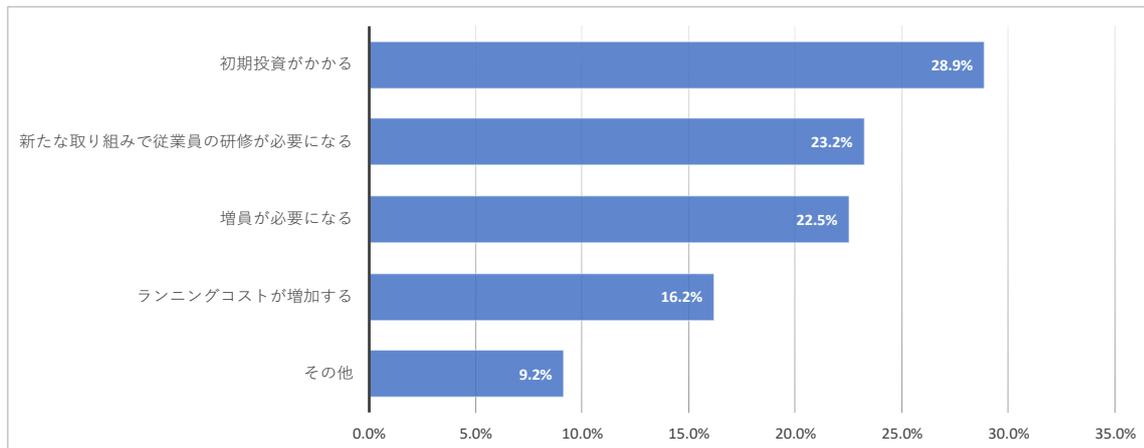
Q4. コロナ対策に取り組みながら営業する期間が続くと思われませんが、収支改善に向けてどのような取り組みが必要と考えられますか。



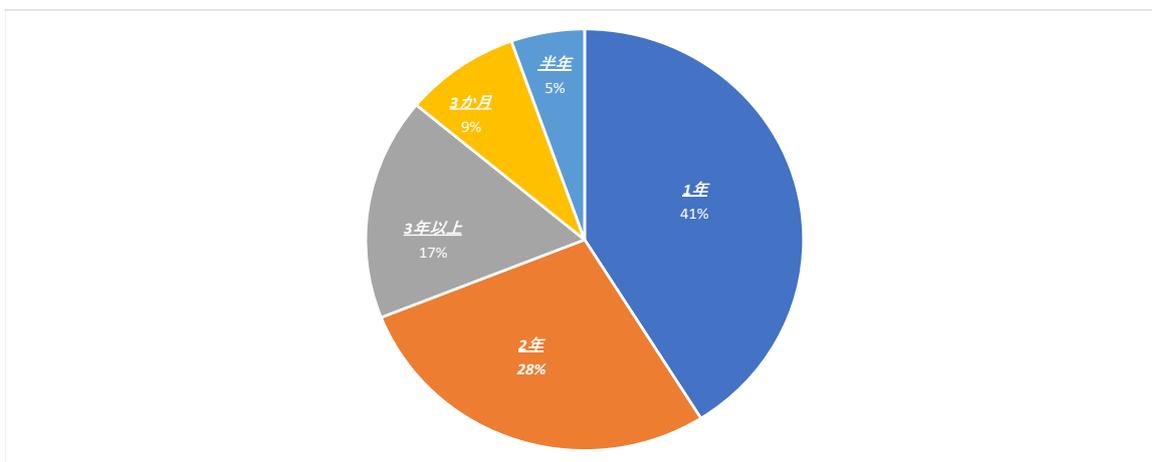
Q5. Q4の取り組みの進捗状況はいかがですか。



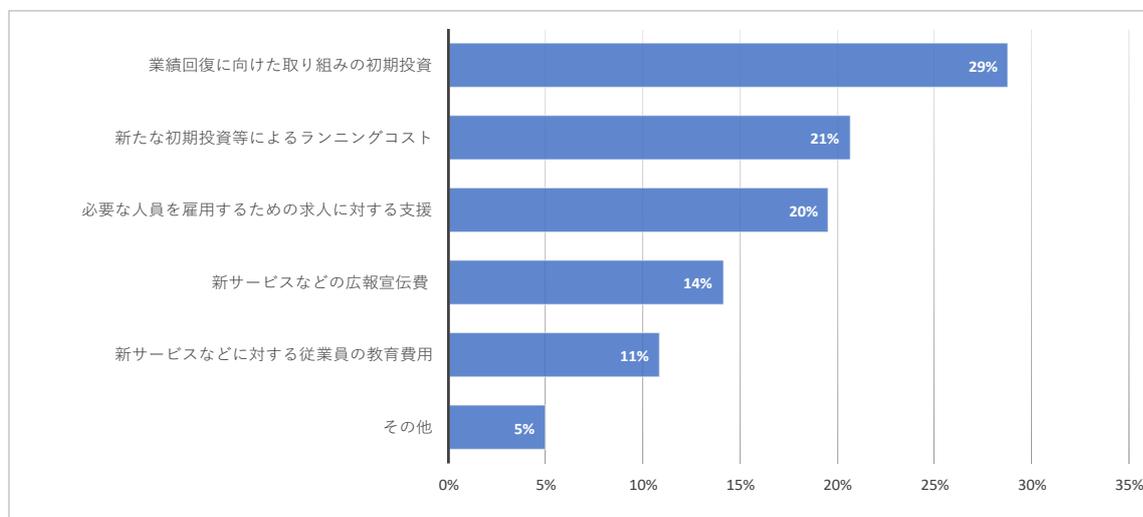
Q6. Q4の取り組みを行うにあたり支障になっていることはありますか。



Q7. 売上げをコロナ前の水準まで回復するにはどのくらいの期間がかかると思いますか。

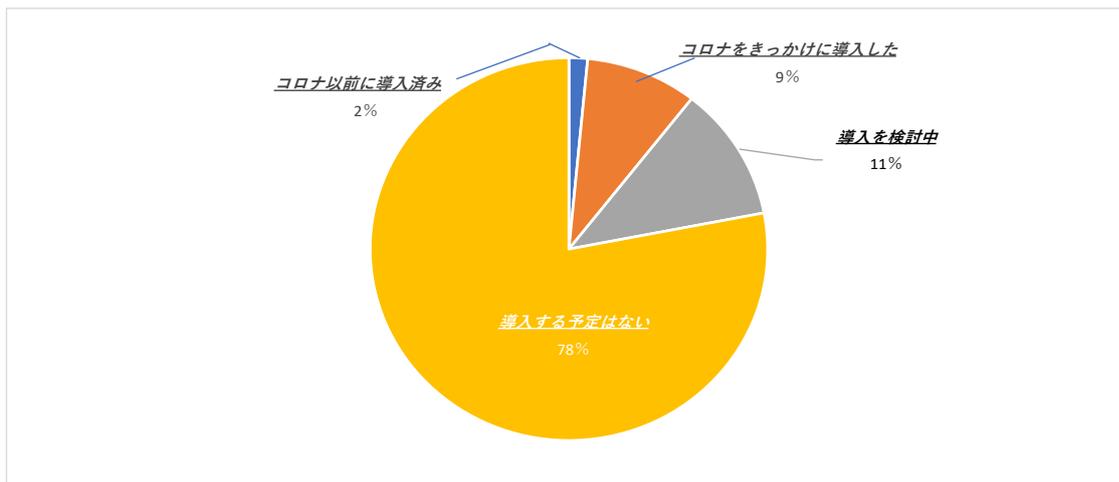


Q8. 業績回復に向けて、事業者だけでは対応が難しく、行政の支援が必要と思われることはありますか。

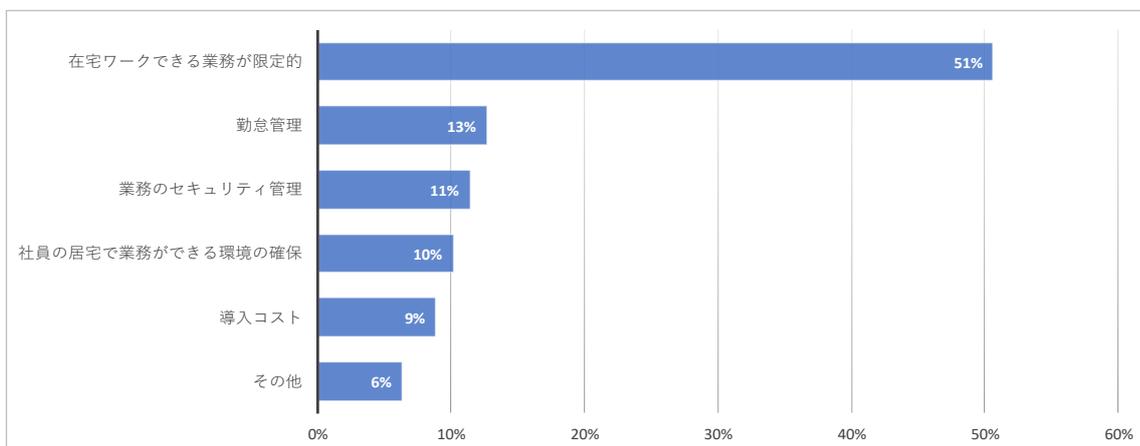


【2】テレワークの導入について

Q1. テレワークの導入状況をお教えてください。



Q2. 社員の在宅ワークの課題はありますか。



Q3. オフィスでも在宅でもない中間的な場所として、セキュリティや通信環境などが充実したテレワークができる場所(テレワークセンター)が注目されています。市内にテレワークセンターがある場合、利用してみたいですか。

